



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016-2017年度

■ 会長 中田 幸雄

■ 幹事 中尾登志男

例会日: 金曜日 12:30-13:30

例会場: スカイホテル

## 第3069回例会

- 点鐘・握手
- 君が代斉唱
- ロータリーソング「我等の生業」
- ゲスト並びにビジターの紹介
- 会長挨拶\_中田会長

5月後半になり私の任期もあと一月余りになりましたが、6月は皆様にご迷惑をかけないように有終の美をかざりたいと思っています。

植樹祭が明日から3日間あります。砺波市の頼成の森で48年に植樹祭が行われました。当時は魚津水族館にこられたみたいです。

先週土曜日家にいましたら、蜃気楼がでていたとの案内がありました。よくわかりませんでした。Aランクが明日でてこないかなと期待しています。

魚津をテーマにした映画の撮影が行われています。上映された機会には魚津を見つめなおすと意味合いも含めてみていただければと思います。

今日は盛り上がる会にしていきたいと思っています。



# ■ 幹事報告\_中尾幹事

## ★ガバナーエレクト事務所より

- ・2017-18年度ガバナー公式訪問・ガバナー補佐事前訪問について

## ★魚津市暴力追放運動推進協議会・魚津市防犯協会より

- ・会費納入のご協力について

## ★富山県善意銀行より

- ・H29年度会費納入のお願い

## ★魚津市交通センターより

- ・表彰式並びに懇親会の開催について
- ・理事会の開催について

## ★青少年育成魚津市民会議

- ・H29年度青少年育成魚津市民会議総会資料の送付について

5月のRIレート  
\$1 = 110円



## 6月例会案内【ロータリー親睦活動月間】

6月 2日(金) 会員卓話 羽田君 (スカイホテル)

6月 9日(金) 野外奉仕例会

\*クラブジャンパー&キャップ着用のこと (魚津水族館横公園)

6月16日(金) 委員会年間活動報告 (スカイホテル)

6月23日(金) 会員卓話 山澤君 (スカイホテル)

6月30日(金) 夜間例会 : 納会 (グランミラージュ)

6月SAA補助

川岸君 よろしく申し上げます。

# ■ 出席報告\_青山委員長

本日の出席	出席率	欠席者	3067回 メイクアップ	3067回 出席率
25名	82.70%	8名	青山君・池上君・稲盛君・清水君・羽田君	58.62 ⇒75.0%



# ■ ニコボックスの報告\_広瀬委員長

野澤	ガバナー補佐 残り一か月余りで解放されます。次年度、会長・幹事暖気運転終わりましたか？
----	---



# ■ 委員会報告

## 【IM委員会】川岸委員長

IM決算報告



# 本日の卓話

## 『2016-17年度 ガバナー補佐を経験して』

野澤君



地区へはインターアクト8年(委員5年、委員長3年)、友情交換で2年間行かせてもらったお陰でパストガバナーや多くの知人がいて大変心強かったです。とは言うもののガバナー補佐の実際の任務など聞かされたときには、これは大変だと思いました。

事前の補佐訪問・ガバナーの公式訪問などに第一分区8クラブを訪問することによって、今まで外から見たくらいしか他のロータリークラブのことを知らなかったのですが、ガバナー訪問のRI会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」を重点項目の3つ説明され、それに基づいて岡部ガバナーの地区方針「語り合おうロータリー」のテーマのもと、丁寧に噛み砕いて説明され、それゆえに8クラブの会員の皆様に思いを理解していただいたものと感じました。

私たちの2610地区は9分区ありまして、当第一分区の会員数は下から2番目、出席率は最下位が現状であります。

8クラブ補佐として又ガバナー訪問を通して、それぞれのRCが地域の特性を生かした活動がなされ、クラブの良さを再認識しました。

活動を続けるのに今一番大変な時期を迎えているクラブもあります。活動計画書に定款や細則のないクラブが半数の4クラブがありました。このまま現在のすばらしい活動をして110年先は大変心配になってきます。このことは第一分区及び8クラブ全てに言えるのではないかと考えています。このタイミングにRIから定款・細則の改定やクラブの運営に大幅な柔軟性として、地域クラブにあった活動をしてよいですよということで例会の回数や形式出席に関する柔軟性が各クラブで決めても(細則で)よいですよとなったのであります。

第一分区の中には会員数の財政上の都合があり事務員のいないクラブもあり、会長・幹事に大きな負担がかかっている訳であります。RCとして今までの良いところを伸ばしながら少しずつ新しい活動に取り組むことも活性の1つかなあと考えています。これからも会員同同志例会時だけの顔あわせ、話し合いながら1歩踏み出して、RCの仕事のことをもっと語り合う場を作っていくことが第一分区の活性化につながると感じています。